（廿七日夕刊）
磐城新聞

休刊日 大祭第一第三日曜日
定價 一部壹錢 一ヶ月五十錢 郵税拾錢
廣告料（雑報欄一行五十錢 場所指定二十錢増）
發行兼編輯印刷人 蓮沼龍輔
福島縣平町田町拾六
發行所 磐城新聞社 電話五大番

土地賃貸價格調査委員選擧關係事項（下）

ト、町村に於て資格關係に就き照會を受けたるときは相互速に調査回報する様努めらるゝこと

チ、登記濟通知書に對しては選擧期日十五日以前に收受したる登記濟通知書は其時々整理の上送付するを以て名寄帳整理に就ては右送付を受けたる場合は直に整理を完了し支障なきを期すること

五、立會人選任

イ、町村長は其町村に於て選擧資格を有する者內より二人の立會人を選任し投票開票に立會はしむるものとす（法第八條）

ロ、立會人に予め本人の承諾を受け置き選擧當日に於て支障を來さざる様特に留意すること

六、調査委員

イ、調査委員は當該町村內に於て之れを選擧す各町村に於て選擧すべき調査委員は一町村一人とす町村組合にありては一町村と見做す（法第四條法第三條二項法第三十一條

ロ、故に調査委員に選擧せらるゝものは其町村に於て名寄帳に登錄せられたる有資格者に限るものとす但し第四項二號のものを除く

七、投票區、開票區

イ、調査委員の投票區及開票區は町村の區域によるものとす（法第三條）

ロ、故に投票者（選擧人）は必す其町村內に於て名寄帳に登錄せられたる有資格者たらざるべからず

八、選擧方法

イ、選擧は無記名投票を以て之を行へ投票は調査委員の選擧に付一人一票に限る（法第七條）從つて甲單獨にて土地の所有[illegible]外に共有[illegible]きの投票は一票限りとするとき個人として選擧權を有し又法人代表として選擧權を有するときは各別に選擧權を行使し得るものとす但し投票用紙二人分を同時に交付せざるものとす

ロ、投票用紙は選擧當日投票所に於て之を選擧人に交付するものとす（法第七條三項）

ハ、選擧人は選擧當日投票時間內に自ら投票場に至り被選擧人一人の氏名を投票用紙に記載投票するものとす（法第七條二項）

ニ、故に代理人又は郵便を以て投票をなすこと能はざるものとす

ホ、一旦投票したる以上は如何なる事由ありと雖も之を取消し又は引換ること能はざるものとす

へ、調査委員のとう票に記載すべき人員は各一人に限るを以て二人以上を記載するが如きことなき様特に注意すること

九、とう票開票記錄

とう票開票を終りたるときは市町村長は其記錄を作製し立會人と共に署名捺印し其顚末を明瞭ならしめ置くものとす

一〇、とう票の效力は立會人の意見を聽き市町村長之を決定しとう票の調査を終りたるときは直に左の事項を税務署長報告するものとす（法第十條）

イ、とう票人及とう票の數有效とう票及無効とう票の數

ロ、とう票を無効とした[illegible]る由

ハ、被選擧人の住所氏名生年月日及其得票數

十一、當選人公示

イ、市町村長は税務署長より調査委員當選に關する通知を受けたるときは當選人の氏名を公示するものとす（法第十三條）

磐新顧問（照合を觀迎す）

●●●●●●財產差押へを　金を貸した者にいくら督促しても支拂ひませんから財產を差押へやうと思ひますが、財產は妻や子供の名義になつて居るので差押へしても無駄だといふ人がありますが本人の債務に對し、その子供や妻は責任はないものでせうか（大木）

總て債務は債務者本人だけの責任で本人以外の者には責任はありませぬ、相續の開始せられた場合に單純承認を爲したる相續人は被相續人の債務を繼承する事となりますが其以外に債務者の妻や子供等に責任があるわけのものではありませぬ、從つて債務者に對する財產差押への爲に、妻や子供等の財產を差押へる事は出來ませぬ、强て之を差押ふれば、强制執行異議の訴訟手續をせらるれば差押へを解放しなければならぬ事となりませう

●●●●●●分家するに付　分家するには戶主の承諾を要するも或事情の爲承諾を得る事が出來ぬ時でも、男子三十歳女子二十五歳以上なら戶主の承諾なくとも出來る規則あると聞きましたが事實でせうか（梅澤）

分家は戶主の同意を得なければ出來ませぬ、年齡によつて其同意を要しないとの規定はありませぬお尋ねのは婚姻や緣組に付ての父母の同意に關する規定の間違ひであらうと思ひます

明日 吉 凶 [illegible]
舊五月二十九日　新六月二十八日

▲一白 日頭の精力現れ來る氣紛れを性とする勿れ▲二黑 天の加護により立身出世する日萬進んで吉▲三碧 次から次ぎと手に餘る事の湧き出で來る日▲四綠 意に滿たずとも迷ふべからず飲食物も注意▲五黃 誠を以て人に對するときは名利共に擧がる▲六白 利にして愛あれば求めずとも引立に逢ふべし▲七赤 人を見れば人の事と思はずに自省すべし▲八白 陰闇の域より陽明の地に出でし心地する日▲九紫 自分勝手に走り易き日口舌爭論注意のこと

講談 血で血を洗ふ（72）

高橋掬太郎創作　布施甲八郎揮畫

曲者の影

主君の實弟とはいふものゝ油斷のならぬ昌康のことであるから、清左工門は眞實を打ちあけなかつた。

「いよ〳〵た家にとつて危機にござりまする。何事につけ油斷なく致さねばなりませぬ、奥方様もそのた心にて御身邊にお氣をつけて下さいまするやう——」

と清左工門は注意を申しあげた。

「はい、其の儀はよく承知して居ります。もう此の上はた身だけが賴りでありますゆゑ、忠義の程をた賴み申しますぞ」

奥方にとつて全く信賴することの出來るのは清左工門だけであつた。

「其の儀は御心配に及びませぬ、一命を堵してお家のために盡す考へにござりまする」

「お、喜ばしいその一言、妾もそれで安心が出來まする」

と主從は聲をひそめて善後策に就き語つた。

それから清左工門は昌康の居間へ伺候した。

「御免下さりますやう」

と清左工門は昌康の近くへ坐つた。

「おゝ、神部か——」

「只今、た出迎ひに遣しました者等が立ち戻りましてございまする」

「お、して、兄上は御無事であつたか？」

昌康は思はず膝を進めて訊いた。

それは成昌の身を案じるのではなく自分等一味の目的が遂げられたかどうかそれを案じてゐたのであつた。

しかし、途中で主君を狙つた曲者が昌康一味の者であらうとまでは流石の清左工門も氣がつかなかつた。

「それが……」と清左工門は態と聲を沈めて悲痛の面持を見せながら云つた

「それが悲しいことには主君には御無事ではございませぬ」

「た、ナニッ、兄上には御無事でないと申すか？」

昌康はさも驚いたやうに叫んだ。がそれは眞實の驚きではなく何處か作りごとらしい態とらしさがあつた。

清左工門は、膝を正し兩手を疊について悲痛のあまり頭も上げ得ぬやうに見せながらも油斷なく昌康の面に眼を注いでゐた。そして主君が途中で狙擊され行方不明になつたと語つた。

如何に沈着の人であらうとも、肉親の兄が敵に討たれたと聞いたなら卒倒するほど驚き顏色も蒼白に變ずるのか當然である、そして第二には敵を怨み呪ふ形相物凄く拳を握つて起ちあがるか或は空を睨んで身を震はすのが當然であらう。然るに昌康にはそれがなかつた。驚いたやうに見せたのも、心から發したものでなく、眼光も何等憤怒に燃れなかつた。

「無念至極に存じまする」

と云ひながら清左工門は昌康の樣子に訝かしさを感じてゐた。

「憎つくき秀吉奴、己れどうしてくれやう」

昌康はやがて拳を握つて呪はしげに叫んだ。がそれも矢張り心から發したものでなく、清左工門に見せやうためであるらしいのを、清左工門は讀んだ。

そして清左工門は間もなく昌康の居間を退き城から退出することになつた。

その夜もまだ宵月だけで夜が更けては暗かつた。けれど星がこぼれるほど空に輝いて夏の夜そのものゝ明るさがあつた。

無事とは思ふものの、何處に身を忍ばせてゐるか行方不明の主君の辛苦、それに戰ひには敗れ內には反逆の鉾をかざさうとしてゐる者かあるた家の危機など清左工門は路を歩きながら我が身を忘れて思案に打ち沈んでゐた。

と、その後から影のやうにつけ狙ふ二人の曲者があつた。

新館陳列 六月一日より
◆昭和中形
◆昭和式手拭中形
◆名古屋しぼり
是非御覽を願ひます
三井吳服店
平町三丁目 電話三十八番
夏物豊富取揃へ申候

株式 諸株式の賣買に應じます
謹告
株式現物賣買
平町田町六八
駒場四郎商店
電話四六五番
電略（カネ）又ハ（コ）
（電話高價に買入した）
取引は迅速を第一とします
取扱は親切を旨とします
賣買 土地賣買金融の中介をします

夜間 診療
胃腸 內科 十二指腸虫病 專門 內科部
梅毒 淋病 婦人病 包莖 肛門病 專門 外科部
平南町 松村病院 電話一〇七

入院隨意（自炊の便あり）
外科專門
平南町
上田外科醫院
電話一二九

平町田町
高久病院
電話五一三番
醫學士 高久忠
新潟醫學士 赤羽清
藥劑士 佐竹菊雄
內科、小兒科、外科、花柳病科、耳鼻咽喉科、レントゲン科

齒科口腔一般
診療時間（午前七時ヨリ午後八時マデ）
但シ急患ハ此限リニアラズ
平町南町成田山前
鈴木齒科醫院
齒科醫 鈴木五郎

政友會の主義に基き 商港は必ず急速に實現
淺野翁百萬圓寄附を公約 委員上京運動の經過

小名濱商港問題は屢報の如く内務省が愈々明年度より繼續豫算を計上する段取りまで漕ぎ附け去る二十一日伊東知事の實地踏査により實現の急速可能と測知するに難くないが此の問題につき殆むど全力を打ち込むでゐた小名濱上下町民は

此の喜ぶべき時機に當面し此の際飽くまで初期の目的に向つて猛進すべく鈴木町長、小野縣議、町議飯塚榮一郎、小濱長太郎、小野務平の諸氏は二十二日伊東知事と行を共に上京したこと既報の如くである、右一行は上京直後内務省土木局長宮崎通之助氏同政務次官武藤金吉氏を訪問し

豫算計上その他について屢々陳情する處ありしに對し之れ等政府當路者は小名濱商港問題は政友會の主義綱領たる産業立國の大本に基き是非急速に政友會内閣の手によつて實現すべき充分の熱意を披瀝されたが更らに一行は磐城炭礦株式會社長淺野總一郎翁を

前後三回に亘つて訪問、曾ねて翁の表明された同港修築工費への寄附方につき懇請する所あり二十五日夜築地の旗亭蜻蛉に淺野總一郎翁、宮田磐視總監、伊東知事、八田、堀切、近藤の三代議士白井、高岡、安島、石射、松本の各前代議士、中野浩忠、金成通、鈴木辰三郎、木村、井上、草野、古川諸氏の各前現縣議諸氏の合同を懇請し豫算の計上と淺野翁の寄附實現その他について努力方を懇請せしに淺野翁は商港埋立地九萬九千坪の無償貸與を交換條件として右工事費中に百萬圓を寄附すべき旨を

公約する處あり運動は大いに効を奏した一行は更に鐵道省の八田次官、志賀參與官を訪問同樣運動の上歸町したが商港工事は縣が一切を引受け施行の筈で淺野翁の百萬圓寄附問題が明

ヤマト醬油の 株主總會
損益證認と改選

江名町ヤマト醬油株式會社第一回の總會は二十六日午前十時より同社内に開き第一期損益承認の件と監査役選擧の件を附議したが同社は創立直後工場の擴張、仕込みに全力を注ぎ次期の成績に餘力を注ぐ事となつた爲め今期は無配當を決議承認し尚ほ監査役の小野晋平氏辭任し後任に満場一致を以て井上貞次郎氏就任した

戶數割賦課の 平町臨時町會
區長選擧その他で 銅像は第一校へ

平町會は既報の如く今廿七日午前十時から町會議室に開會したが議案及決定事項は次の如くである

小學校敷地一部使用の件　公園に建設する筈であつた大越中佐の銅像を平第一校庭九坪に建設する事に決定滿期並に欠員中の區長推薦の件（第三）區長市原源十同代理吉田寅之輔（第四）區長佐藤久吾（第五）區長馬目太郎（第六）區長山崎孝之助（第十四）區長青木榮吉同代理會川延太郎（第十八）區代理仲野伊重（第十九）區長佐藤榮吉、同代理佐藤林之助（第二十四）區長國府田子之治

△特別税戶數割賦課決定に關する件は大体に於いて原案通り決定を見たが此れに依ると最高は釜屋諸橋久太郎氏の千四百八十一圓で次ぎが鹽屋山崎與三郎氏の九百十二圓六十九錢百澤易與氏の七百七十八圓十四錢等の順序で委員會に附して散會した

白米値段
昂騰の色あり

石城郡地方米の出廻りは尠く農繁期のため米價はますく上向きの傾向を見せてゐるが卸上白米一石四十一圓三等移出玄米三十七圓八十錢產米買入三十五圓二十錢で一般取引きをなし今少しく昂騰せんとしてゐるも中央市場は依然として少しの動搖もなく平米穀商組合では小賣相場左の如き協定値段を可決した

上白米一升四十三錢中白米四十二錢並白米四十一錢田糯白四十八錢陸糯白四十五錢搗麥三十錢

磐炭軍快勝
きのう仙鐵を迎へて 見事なる接戰

東北庭球界の龍虎とも見るべき磐炭對仙鐵の庭球試合は仙鐵軍の遠征に依つて廿七日午前十時半から湯本町磐炭天王崎コートに於いて火蓋を切つた正審平クラブ根本、副審同大坪ゲーム七回

仙鐵　磐炭
小島鈴木4—3田村　猪狩
同　◎4—0野口　渡邊
但野中野1—4志賀　國府田
工藤伊藤2—4同　◎

兩軍の技揃拍中して一進一退各一組の優退を得て勝敗の豫想も付かない

山内後藤2—4高木　神邊須
相澤本田1—4同　◎

神邊須ゝ當り物凄く高木のネバリと共に仙鐵軍の大將組を射止めて既に勝敗は決したものゝ如くであるが次いでトップの優退小島組が必死の覺悟で出場殘る磐炭の大將松本武者と對戰

小島鈴木2—4松本　武者

小島松本の當りは眞に鬼氣迫る程に物凄く武者の美技は觀衆を醉せて仙鐵の建闘も効なく遂に磐炭軍は優退二組を殘して凱歌を揚げる時正に午後一時三十分近來の猛闘であつた

眠る怪漢
平署に捕はる 木の根枕に

平署柴崎刑事が廿六日午後十二時頃平町八幡小路附近を密行中八幡神社境内老松の根本に眠つてゐる三十才前後の怪漢を發見したので搖起し誰何したるに件の怪漢は所持してゐた鋸樣の巨器をもつて同刑事に打かかつて來たので約三十分に亘る大格闘の末遂に逮捕し平署に引置の上目下嚴重取調中であるが此奴は當時住所不定前科數犯を有する本郡江名町北野生れ木村藤四郎（三六）で去る一月中仙臺刑務所を出獄以來當地方に流れ込み八幡神社の境内を根城にコソ泥を働らいた旨の自白をしただけで其の他一切口を噤して語らず係官を手古摺してゐるが餘罪ある見込で各方面に指紋を取つて照會中である

磐女庭球軍 惜敗
水戸へ遠征

縣立磐城高女庭球部は昨廿六日茨城縣に遠征同縣下女子庭球界の覇水戸高女及茨城女師軍と對戰した戰績は次の如くである

水女　磐女
一色高瀬1—3小菅永山
篠原栗崎3—2同
同　0—3長瀬石川
大森遠峰0—3同　◎
松井飯野3—1渡邊鈴木
同　3—0鈴木佐藤
小島池田0—3菅原瀬谷

優勝戰
松井飯野3—0菅原瀬谷
同　3—1長瀬石川

で磐女軍四對五で惜敗同日午後一時から女師コートに於いて女師軍と對戰し此れまた磐女健闘したが及ばず三對五で惜敗した

戀の四千兩　第一回　森野、松燕合同作品

蒲田を飛出した森野五郎が獨立プロダクションを起した、そして片岡松燕と顏合せをする、先に松燕と云ひ、市丸と云ひ又今度森野と云ひ、右太と云ひ、時代劇の孵け者が盛んな會社を飛出すのは何うした譯だらう？　夫れが各々相當の成績を上げて居るから面白い、更に角日本映畫界に取つての好い傾向ではある。森野の藤岡藤十郎が若月孔雀の娘お雛に戀を寄せたが、時代の因習と迷信は松燕の池田播磨守に其戀を奪はれると云ふ筋。森野と若月

大牛ムシ齒に掛る 平小學校の兒童
實に由々しき問題で 學校當局で對策

平第一、第二兩校では此程三千の兒童に對し齒牙檢査を行つたが其の成績によると第一に於ては檢査兒童總數一千七百一名の中齲齒人員が驚く勿れ一千五百三十五名の多數に昇り全兒童の約九割を占め、それに反し無齲人員は僅かに百六十六名である次に第二校の成績を見るに檢査兒童數一千五百九十名の中　齲齒人員一千四百七名　第一同樣約九割の多きに達してゐる、而して齲齒發生の年齡は兩校共尋常五六年頃から漸く芽ばね高等一學年あたりが最も其徵候が激しい樣である原因は主として父兄の不注意からで學校當局では此の點を殊に注意し今後の方針について目下協議中であると

錦と鐵砲
（投書歡迎）

女子と體育

昔から女は女らしくと云ふ言葉のもとに、すべての動作をなよくと曲線的にやらせて來たうでせう、美しい女といふ女は大ていの胸幅が狹く肩から下肢にかけての筋肉が貧弱で風にも堪えぬといふ有樣です。これでは女の義務である姙娠、分娩、哺育の大任を完全に果すことができるでせうか。

よく女の人は手足さへ働かして居ればそれで體育になると考へて安心して居ますが大きな間違ひで、一部分だけをいくら動かしても全体に及ぼす影響は殆どありません。

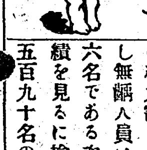
これに反して身體全体を動かす運動、つまり大きく動かすことは各部分にまでその發育を促す效果があるのです。

ですから茶碗を洗ひ、靑物店に步いて行きさへすれば運動できたものとして平氣でゐることはできません。女はどうしても家庭で規則的に體操をやる必要があります。

しかし體育は體操のみによつて完成するものではありません少くとも遺傳系の血統のある人と結婚してはなりません。また衣食住に對して適切なる合理化を計らなければなりません、特に日本の女兒の如く最も非衞生的の衣服は斷然改める必要があります。第三は充分に睡眠をとることです。

而もこれだけではまだ不完全で身體の健康と共に學問と道德とを具備しなければ何にもなりません、これが私の所謂體育では各方面から見た女性の完成と云ふことにひとしく、世人の体育に對する考へを自然訂正されなければなるまいと思ひます。

男子よりも悉く劣等な身體の持主である女子が、それにも拘らず比較的健全であるのは實に不思議です若し男子に比して多少勝れた部分があるとするならば、ただ手先と足です。これは恐らく長い間男子のためにこき使はれて來た哀れな證據と見られます。⑾



（ミチ子）

きのう好樂館に 思想問題講演會
古河本社の氏家氏が 誤れる勞働運動者

好間村古河炭礦勞働者全部より成る自治會は健全な基礎の許に飽まで勞資ノ圓滿を計る可く努力し近般來常磐各地に頻發した勞働爭議事件に際し何等微動だもせなかつた程に同礦勞働者は常に外來の不穩な分子をして一步も踏み入れさせざる實に堅實性を以て處してゐるが昨二十六日午後一時より同村元山好樂館に於て自治講演會を開き古河鑛業株式會社勞働課長法學士氏家眞一氏ゝ勞働問題に關する講演あり世界思想界の現狀より說き挽近常磐地方に擡頭せる勞働運動者の矛盾せる行動を指摘し一千餘名の自治會員に大なる感動を與いて午後三時半散會した

鰹船大破
濃霧の爲に 江名濱沖で

宮城縣牡鹿郡石巻町三浦一郎所有の發動機船（三十九噸）が船長木村要造外三十六名の船員乘組み去る廿一日石巻港を出帆小名濱沖五十浬の海區に於いて鰹群を發見約千二三百尾を釣獲して廿六日午前五時頃小名濱港に寄港せんとし進行中濃霧のために進路を誤り江名海岸で有名な難所下神白砂岬の暗礁へ乘り上げたため船底大破した急報に依つて平署小名駐在松本警部補現場に急行江名濱消防青年團の手に依つて直ちに救助作業を開始したが乘組員は支障なく今廿七日午後までには引上げ完了の見込である

白井家婚儀
帝國ホテルで 盛大なりし

平町白井博之氏令息一郎氏と茨城縣水濱電車株式會社長前貴族院議員竹内權兵衞氏令孃たき子孃との結婚式は既報の如く二十四日午後五時帝國ホテルにて擧行六時半より階上大廣間に盛んなる披露の宴を開いたが列席者の主なるものは兩家の親族六十餘名の外上京列席せる安島、高岡兩前代議士中野、鈴木、金成各前縣會議員、木村、草野、井上、古川、小野各縣會議員等數十名にて食卓を開くや媒介者たる齋藤茨城農工銀行頭取より一場の挨拶あり次いで安島前代議士の祝辭並に乾杯あり京都府警察部長天谷虎之助氏外數十通の祝電披露あり一同兩家の萬歲を唱和して八時半散會し終つて別室談話室にて歡談を盡くし十時一同散會した

公私往來

鈴木辰三郎氏（前縣議）二十四日上京昨夜歸平
木村清治氏（縣議）同上
高岡唯一郎氏（前代議士）同上
草野順平氏（縣議）同上
小野務平氏（磐通社長）同上
小野晉平氏（縣議）上京中二十八日歸町の豫定

軌道會社が困れば 驛前は眞の闇
自動車に崇られた 勿來町民こぼす

勿來町道軌社會はで全町に亘り奉仕的に外燈を寄附點燈して居た處昨今乘客の大部分が自働車に奪はれる爲め漸く社の經營不振に陷り廿五日以來全部の外燈を消したので同町窪田及び關田では外燈料町有志負擔の條件で從來通り點燈する事になつたが勿來驛前通りは消燈された儘會社に對し何等交涉を進める手段も構せぬ爲め夜中の如き全く暗界化し昭和の世この驛前ばかりは魔の出る樣な狀態である

給仕募集

十五六才位小學校卒業の男自轉車に乘り得るもの一名を至急募集す希望者は本人午前中來社あれ委細面談

磐城新聞社

平館隣り
御料理 鰻蒲燒 仕出し
魚榮
電話四二四番

平町紺屋町
藤沼醫院
電話五〇七番

居乍らに萬斛の涼味
扇風機月賦販賣
三月拂十二吋頸振　一回目十二圓　二回目十一圓　三回目十一圓
灼熱の眞夏が近付きました
事務所のテーブルの上に……商家の店頭に……可愛い子さん方の爲にも各御庭に一臺は是非お備へ下さい
モーター扇風機の修繕も致します。
電機機械 日東商會
平町白銀町九番地　電話平六五〇

外科、耳鼻咽喉科　内科、泌尿器科　X光線科
外科 赤心堂病院
平町字田町　電話四七五

商標登錄
釀造元
福島縣平町
山崎合名會社
電話（營業部一〇番 釀造工場二七番）
振替東京一九七五五番
東京支店
上野車坂町四三
電話下谷五七三二番
振替東京六八三二番

診察無料
如何なる重患でも直ちに癒る三丁目の大谷へ御出下さい
院長博士 敬白
大谷時計病院
電話一一九番

電話付キ貸家
平町城山下
一、中野所有家屋
階下十二、八、六、三、離八ノ五間、風呂場廣イ臺所、内便所二、階上、八疊一間
電話一一二六番附
尚夏冷タク冬温カキ水質極上、水量豐富ナル天然水道ガ臺所及風呂場ニ引込ンテアリマス
家賃極力低廉ニ永ク御約束ノ出來ル堅イ方ニ御貸シタシ御希望ノ方ハ下記ヘ。
平町五丁目 井上